

## イベント会場の設営コストを削減する

### 「イベント DX：設営計画サービス」について

「イベント DX：設営計画サービス」は、ミライト・ワンと岩手県陸前高田市を拠点に全国各地で花火に関するイベントの企画・運営・プロデュースなど、花火コンテンツに特化したイベント運営会社である FIREWORKS 株式会社と共同で 2023 年 6 月より提供しているサービスです。

「イベント DX：設営計画サービス」は、これまで平面図（2D）で行っていた会場設営や安全対策を、デジタルツイン技術によって、大会会場をデジタル空間に正確な立体図面（3D）として再現し、その立体図面（3D）を利用したシミュレーションによって、「会場設営・安全対策費」にかかるコストを削減することができます。

立体図面（3D）では、会場の敷地や建物、設置した什器の高さ、幅、設置間隔などを正確に計測することができます。また、人の視線であらゆる角度から会場を確認することができる為、現地にいるような感覚で設営計画を立てていくことができます。さらに立体図面（3D）によって、従来の CAD 図面の作成も不要となります。

立体図面（3D）では、人の動線や地形の段差などを考慮したテントや観客席といった什器の配置を行うことができます。適切な配置によって、大会当日に使われないといった無駄な発注を削減します。また、大量に配置した什器や備品の数は簡単にリスト化できるため、管理や発注の稼働も削減することができます。

さらに、会場周辺の警備員配置シミュレーションが可能のため、交通量や人流などに合わせた適切な警備員の配置ができ、余剰人員を削減することができます。また、イメージを共有しやすい立体図面（3D）を利用することで、現地訪問の稼働や、関係各所への説明に要する稼働を削減します。また、スマートフォンでも閲覧できるため、業者やスタッフにも共有することができます。

すでに、2022 年に実施された「三陸花火大会」をはじめ、2023 年 7 月の「相馬花火大会 in SOMA シーサイドフェスティバル 2023 -SOMA FIREWORKS FESTIVAL 2023-」等にも導入され、地方における効率的なイベント開催に大きく貢献しています。

(2023 年 10 月現在)